

## [001] 中国文学論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/9837>

---

出版情報：中国文学論集. 1, 1970-05-25. 九州大学中国文学会  
バージョン：  
権利関係：

## 編集後記

春の嵐もすぎず学園紛争も漸く平静になり、筑紫野に陽光の満ちあふれる今日この頃であるが、このたび、われわれ九大中国文学研究室につながる者を持つもの一同が相はかつて、「中国文学論集」を世に問うことになった。これは、昭和二十九年九月以来長年つづいてきた「中国文芸座談会ノート」を発展的に解消し、装いを新たににして、中国文芸研究のさらなる高揚を志向しようとするものである。

巻頭を飾らせていただいた目加田先生のお言葉にもあるように、そのはじめ研究室の同学の士によって作られた「中国文芸座談会ノート」は、創刊以来すでに一六年の年月を閲し、発行回数も一七号を数えるに至ったが、その学界に果たした貢献は、ひとえに目加田先生を中心にした諸先輩・研究室一同の燃えるような向学心によるものであった。小誌とはいえ、新たな装いのもとに再出発したこの「中国文学論集」が、長年つちかわれてきた伝統をふまえ、清新でユニークな学問分野を開拓するための真剣な思索の場となり、かつは後学の士のこよなき指針となるらんことを切に希望する。

不十分なながらも、とにかく新しい門出とはなった。これから果てしない晴雨の旅は続くであろう。われわれは岡村先生を中心として自己のペースを守り、微力ながらも中国文学の研究に意欲を燃やし、努力するつもりであるが、その発展は、大方の好意ある厳しい批判があつてはじめて可能なことである。創刊にあたって、関係者一同心から読者諸賢の熱烈な御支援をお願いする。

(矢島徹輔記)

## ○第二号原稿募集

昭和四十五年十一月三十日まで  
四百字詰原稿用紙四十枚以内

## 中国文学論集 創刊号

昭和四十五年五月二十日 印刷  
昭和四十五年五月二十五日 発行

福岡市箱崎 九州大学文学部内

編集兼 九州大学中国文学会  
発行者 岡村 繁

代表者 岡村 繁  
振替口座 福岡三三五〇七番

福岡市舞鶴一丁目五番六号

印刷所 川島文社  
代表者 川島道昭